新伊達博物館基本設計に係る 説明会における質問及び回答について

1 概要

宇和島が誇る歴史文化を安心して後世につなぎ、その魅力を市民はもとより 国内外に発信する新たな博物館を整備するため、令和3年2月に策定した「宇 和島市立伊達博物館改築事業基本計画」に基づき、「新伊達博物館基本設計」を とりまとめ、市民説明会を計7回実施いたしました。

説明会の中でいただいた御質問や御意見及び回答については次のとおりです。なお、いただいた御意見等につきましては、可能な限り今後の取組に活かしてまいります。

2 開催日時と開催場所

令和4年

08/07	(日)	パフィオうわじま	13:30~	参加者84名
08/07	(日)	パフィオうわじま	19:00~	参加者23名
08/08	(月)	岩松公民館	19:00~	参加者34名
08/09	(火)	三間公民館	19:00~	参加者31名
08/10	(水)	吉田公民館	19:00~	参加者30名
08/11	(木・祝)	中央公民館	13:30~	参加者19名
08/11	(木・祝)	中央公民館	19:00~	<u>参加者 9名</u>
				合計230名

8/7(日)パフィオうわじまの13:30~の説明会は、YOUTUBE(ユーチューブ)にて、ライブ配信しており、会場に来られなかった方もライブ配信を18名以上の方が視聴されておりました。なお、その後の動画再生回数は、8月31日現在で、156回となっております。

第1回

8/7(日) パフィオうわじま 13:30~ 参加者84名

<u> </u>	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
	ア:耐震の考え方について、震度7に対して安全性をどのように考
	えているか。
	イ:温暖化によって、雨量が1時間に140ミリメートルを超える
市民①	事があるが、天赦公園の排水設計はどうなっているか。
יווי בעת	ウ:停電対策、非常用発電設備はどうなっているか。
	工:耐火設計について、鉄骨造は一度火がついたら消化しにくいが
	鉄骨構造部分の耐火設計についてどう考えているか。
	オ:偕楽園は残されているが、立派な門は残すのかどうか。
	ア:耐震設計については、1.25 倍の強度を保って、安全率はさ
	らに強くしている。(隈事務所)
	イ:天赦公園は平成 20~21 年に浸水対策事業を行っており、天
	赦公園下流はポンプ設備を計画している。(都市整備課)
	ウ:非常電源は機械排煙設備のみで、最小限の非常用設備として
回答	いる。文化庁とは協議済み(隈事務所)
	工:耐火設計について、鉄骨とRCの組み合わせで設計してい
	る。耐火設計には十分配慮する。(隈事務所)
	オ:門については先の整備のため検討中。御質問いただいた件も
	含め、公園整備については第三期(R8~)の事業で協議す
	る。(文化・スポーツ課)

市民②	ア:障がい者の立場から、障がい者トイレは1階と2階に設置し、 必ずオストメイト対応にする。階段の手すりは両方に取り付 けるなど、建物が出来てからでは改善されないので、是非建 つ前に障がい者の意見を聞いて頂いて博物館に取り入れて ほしい。
回答	ア:これから実施設計の段階で、しっかりと計画していく。 (隈事務所)

市民③	ア:収蔵品について、点数や内容をリスト化されているのか。 イ:新しい博物館の入館料はいくらを予定しているのか。 ウ:伊達文化保存会に、年間1,000万円と入館料の半分を支払っていると聞いたが、新しい博物館になっても続けるのか。 エ:学芸員の雇用について、新しい博物館になったら増員するのか。 オ:公開承認施設になったメリットは。 カ:展示について、どのくらいの頻度で展示替えをするのか。 キ:城山郷土館、歴史資料館、国安の郷との関係性はどうなるのか。 ク:ワークショップの今後の開催について。
回答	ア:伊達文化保存会の資料はリスト化している。内訳は本日は明確に回答できない。(文化・スポーツ課) イ:入館料については、維持管理費も正確に出せていないため未定。(文化・スポーツ課) ウ:伊達文化保存会には、修繕補助金として1,000万円と美術品を借用した時の点検などに年間250万円を上限として支払いをしている。新博物館開館までに再度検討する。(文化・スポーツ課) エ:学芸員の正規職員の採用については、運営方法を検討する中で、考慮する。(文化・スポーツ課) オ:公開承認施設のメリットは、国宝、重文も借りやすくなること。皆さんにできるだけ多くの文化財を見ていただける機会をつくりたい。(文化・スポーツ課) カ:展示替えについては、展示替えができる仕組み作りを考えさせていただく。(丹青社) キ:常設展示の中では、旧三間町等について、伊達文化だけではなく広く宇和島市の歴史文化を展示していく。(教育部長) ク:展示のワークショップについて今後テーマを作って、開催する事を検討している。(丹青社)

市民④	 ア:今の博物館は展示するだけ。今日の説明を聞いても新しくできる博物館も単純に企画展示室は何ら新しく感じない。 イ:展示の対象は宇和島全域。宇和島と吉田は展示すると聞いたが、三間、津島はどこで展示するのか。作る時にやらないと後ではできない。 ウ:体験ができるようにするためには、対応する人が必要となってくるが、市はどのくらいの人を配置するのか。人件費をどういうふうに考えているのか。 エ:市民を交えたワークショップをやって、市民と話し合いをしてほしい。
回答	ア:展示は、常設展示で本物にふれる前に宇和島市がどんな所なのかを知り、そのストーリー性を考えてもらいたい。市民が製作したものを展示として参加できないかを実施設計で検討していく。(丹青社) イ:宇和島全域は、伊達家が入って来たところが中心になると思う。宇和島藩、吉田藩を扱えば宇和島市全てが入ってくる。近代、現代は実施設計で作っていきたいと考えている。(丹青社) ウ:本日は基本設計で、概要部分と御理解いただきたい。ランニングコストに繋がる人件費については、今の博物館とは違った運営方法にはなるが、抑える所は抑えながら、しっかり計画していきたい。(教育部長) エ:実施設計までに、ワークショップの開催を計画していく。(丹青社)

第2回

8/7(日) パフィオうわじま 19:00~ 参加者23名

市民①	ア:伊達博物館改築事業について天赦公園(キリン公園)への移転 改築の賛否を問う住民投票条例の制定の時に出された意見書 で、「工事期間中も安全を確保し、公園機能の確保を維持する。」 「防災面で児童公園を指定緊急避難場所にする。」と発言された が、本日の説明で、作業車両の搬入口は城南中学校からとするな らば、仮設作業車両は東側に設けないといけないと思われる。国 道 56 号から入って来る場合、公園機能と防災面は守れるのか。 イ:建設費用は 45 億円を宇和島市の人口で割ると1人 63,500 円。 自分のお財布から出て行くと考えるとどう思うか。 ウ:署名を集めている時、伊達家の地代が高くなっている等の意見 もあった。この不景気の時に、伊達博物館をどうして作るのか。 45 億円はコスパが悪いと思う。
回答	ア: 工事車両の導線については、国道管理者、警察と協議しながら進めようとしているので、問題があれば検証していく。(市長) イ: 45 億円の財源は気にしながらやっている。引き続き財源について手出しを少なくできるよう進めていく。総額を市民が払うという事ではないという事を御理解いただきたい。また、伊達博物館に来る事で宿泊者、食事、お土産屋等の利用が少しでも増え、宇和島に足を向けてもらえるきっかけとなり、経済効果が上がると考える。(市長) ウ: 訪れていただくきっかけとして、博物館を含めた街の魅力を高める一つと考えている。(市長)

市民②	ア:新しい博物館の入口と出口は、一方通行なのか。 イ:今まで無かった所に出入り口が出来ると事故の可能性が出てく る。なるべく見通しをよくする事、気をつけて出入りをする事、 啓蒙活動をする事、工事期間中は特に注意をしてほしい。工事 中のバックヤードを作るのか。「伊達博物館を作ったから事故 が起きた。」はやめてほしい。
回答	ア:城南中側から東高側に抜ける一方通行としている。 (隈事務所) イ:バックヤードを作る方向で計画はしているが、まだ決定して いない。(隈事務所)

市民③	ア:現在の博物館跡地の児童公園にトイレは作るのか。どこになる のか。 イ:天赦公園の桜、杏はどうなるのか。 ウ:キッズコーナーは全体のどこになるのか。
回答	ア:トイレは児童公園に必要と考えている。位置等については今後、計画の中で検討する。(都市整備課) イ:桜、杏の植栽は、移植できないものを除き、可能な限り移植を行う。(隈事務所) ウ:キッズコーナーは丹青社と擦り合わせを行い、エントランスに設置する方向で検討している。(隈事務所)

市民④	ア: 宇和島リテラシーとはどんな事か。 イ: 宇和島市の活性化の知恵袋とは、どういう意味か。 ウ: 展示の内容について、先人を中心とした提案であり、伊達先人博物館と感じた。現学芸員が参加して提案、企画するものと考えていたがどうか。 エ: 市民のたまり場はいいと思う。有料だとたまり場にならないと思う、どう考えているのか。
回答	ア:リテラシーは、「理解し使いこなす力」という意味。宇和島の歴史文化を活かす。博物館で、歴史を勉強し、宇和島全域の広い範囲で捉えて、自分たちは宇和島をこれからどうするか、みんなで考えてもらいたいという意味だと思っている。(丹青社) イ:博物館はまちの文化財、歴史、美術品、工芸品を扱い、学芸員は研究、歴史文化に詳しい機関。観光に結びつけていく役割が博物館にはあると思っており「知恵袋」と表現した。(丹青社) ウ:宇和島の歴史文化を知らない人たちに知ってもらうきっかけとなるように人物の視点で紹介する。伊達博物館の学芸員さんとは連携をとりながら企画、立案している。(丹青社) エ:1階は無料ゾーン、2階の企画展示は有料、1階は観光客、市民の方々が自由に入れるようにする。(丹青社)

市民⑤	ア: 建物の1階がガラスのカーテンウォールになっているが津波の時にはどうなるのか。 イ: 2015 年朝日新聞によると、宇和島市は最大津波 13mとなっている記事があったが今は変わっているのか。 ウ: 収蔵庫は津波が想定を超えた場合、どう考えているか。
回答	ア:ガラスの強化はもたせているが、1階部分は割れる可能性がある。今回の設計は復旧を早くさせる、災害が起こっても早く復旧して、被害を最小限にする事を検討している。(隈事務所) イ:市の危機管理課の最新情報から、津波の高さは4.5~5メートルととらえている。(文化・スポーツ課) ウ:収蔵庫は気密性を上げる事、独立したものとする。津波の想定高を前提に設計している。(隈事務所)

第3回

8/8(月) 岩松公民館 19:00~ 参加者34名

市民①	 ア:1階部分のガラスのカーテンウォールが破壊されるという事だったが、理解されていたか。 イ:カーテンウォールが破壊された時に、2階を支える部分は大丈夫か。金具部分で支えているのではないか。 ウ:カーテンウォールが破壊された折りに、2階の企画展示室を十分支えられるのか。 エ:面積が1,500平方メートルから4,000平方メートルになる事で維持管理費がいくらになるのか。
回答	ア: 形あるものは、想定される地震で壊れることもあると考えている。博物館の各パーツはこれから実施設計に入っていくが、壊れることもあると認識している。(市長) イ: 構造体には入らない。カーテンウォールとは別の鉄の柱が入って建物を支える構造体がある。(建築住宅課) ウ: カーテンウォールのサッシ部分で支えているものではない。(建築住宅課) エ:まだ運営方針も決定していない。実際に運営してみないとどれぐらいかかるというのは、現段階では発表できない。(教育部長)

市民②	ア:収蔵庫の所有権はどこになるのか。 イ:企画展示室の展示品等の所有権はだれのものか。 ウ:伊達家の物は無いのか。個人の物の維持管理費として伊達家に 支払っているのをこれからは逆に市に払ってもらうのか。
回答	ア: 収蔵庫の所有権は宇和島市。市の建物。(教育部長) イ:展示品は、宇和島市、伊達文化保存会、個人の物になる。(教育部長) ウ: 寄託される予定で、維持管理費は、市が負担することになる。(教育部長)

市民③	ア:伊達家が所有している物を、宇和島市が管理してあげるという事、それっておかしくないか。伊達家が市に寄贈して、市に使ってもらう。なぜ伊達家の物を我々の税金で管理してあげないといけないのか。 イ:今の博物館で、年間どのくらいの収入があるか。
回答	ア:全体の意見については、相手方があるので差し控えさせてほしい。伊達家のためという言葉があったが、宇和島伊達家が収蔵されてきた、宇和島伊達文化保存会の美術品は、どうなってもいいという物ではないと考えている。この地域で守っていく物だと考えている。そのために必要な税金投入。(教育部長) イ:現在の伊達博物館の収入については、入館料は年間約 150 万円程度、コロナ前は年間約 600 万円程度。(教育部長)

市民④	ア: 今回の設計について、隈研吾氏という世界的に有名な方に博物館を設計してもらう。起用された事をすばらしいなと思う。 隈研吾氏が設計した事によって、多くの人に来てもらえる。すばらしい博物館が出来る。宇和島に新しい物ができる。今日の説明でよくわかった。
回答	ア:特に回答せず、御意見として拝聴した。

市民⑤	ア: 太陽光パネルの設置について、デザインを考慮されているのか、 藤棚カフェに置けるのではと思った。 イ: バスの駐車場について、バスから乗降させて、バスを逃がす先 の想定があれば教えてほしい。
回答	ア:太陽光パネルの設置場所については、屋根の意匠について取り合わせを考え、城南中側にパネルを取り付ける計画。 (教育部長) イ:バスの逃げ場について、乗り降り場で降りていただいて市内のどこかに待機してもらう。ショットガン方式を採用。 (教育部長)

市民⑥	ア: 伊達文化だけでなく一市三町で歴史文化をどう取り扱っていくか、しっかり検討してほしい。 イ: スタッフの増員について、学芸員をどう考えているか。できるだけ増員してほしい。 ウ: 基本設計から実施設計に移ると思うが、議会の反応は。
回答	ア: 宇和島伊達文化だけでなく、一市三町とも歴史文化を持っていると思う。伊達博物館に来ていただければ、知る事が出来る。貴重な文化財にふれる事が出来る。更新していき飽きさせない事を提案していく。(教育部長) イ: 学芸員の増員については、教育委員会として要望も出ているし、必要な学芸員の増員に努力していく。(教育部長) ウ: 市議会からも様々な意見はいただいている。賛成、反対様々ある。(教育部長)

第4回

8/9 (火) 三間公民館 19:00~ 参加者31名

市民①	ア:南海トラフ地震は、いつ起きてもおかしくない状況であり、津波の想定は4.5~5メートルと言われたが、津波での水圧や流されて来る物がある。壁の構造がどれだけもつのか。 イ:国道面に1メートル以上の壁を作ったらいいと思うが、デザインによりガラスになっている。津波によりガラス部分は破壊されると思うが被害の想定はしているのか。 ウ:津波以外に文化財窃盗がある。被災した場合に防ぐ事は考えているか。
回答	ア: 想定している 4.5~5 メートルの津波に耐える設計となっている。(教育部長) イ: 1 階部分も水密扉を設けて避難場所を確保している。発災後できる限り運び入れる。あらゆる想定については、今後の検討の中で災害想定しながらやっていきたい。(教育部長) ウ: 窃盗被害対策としては、しまえる所、避難できる所に急ぎ避難させる事が大事だと思っている。(教育部長)

市民②	ア:博物館が端によって、コンパクトになっているのは何故か。 なぜ、広場が大きいのか。
回答	ア:博物館を端に寄せた理由は、公園を利用されている人が多く、広場を大きく残してほしいという要望もあり、公園の中に博物館を移転建設することとの両立を考慮し、今の配置とした。(教育部長)

市民③	ア:所蔵品の所有権について、伊達家から寄託された物、宇和島市の物、宇和島伊達文化保存会の物、個人の物があると聞いた。個人の物とはどんなものか。新しい博物館が出来た時にも保管していくのか。
回答	ア:個人の物とは、市民の方(個人)の物。約40件あり、宇和島市として、展示、保存していく価値があると認めた物である。(教育部長)

市民④	ア:維持管理費が令和3年度で8,000万円と言われたが、抑えずにやれば、いくらくらいかかるのか。 イ:新しい博物館の維持管理費は、どのくらいを想定しているのか。 ウ:指定管理を受けると言われていたが、学芸員の立場はどうなっていくのか。 エ:隈研吾さんの建物は、20年~30年で改修というのを聞くが、そういう事を想定されているか。
回答	ア:維持管理費は約8,000万円で運営と言ったが、数十年の中で修繕で1,000万円以上かけた時もあり、1億円かかった年もある。(教育部長) イ:新しい博物館について、発言は控えさせてほしい。今の博物館よりは、かなり高くなると考えている。(教育部長) ウ:学芸員、運営については今後検討する。(教育部長) エ:新しい博物館の耐用年数は、50年と設定している。(教育部長)

市民⑤	ア: 現博物館のスタッフの構成を教えてほしい。 イ: 今の清掃員の勤務時間と人数について教えてほしい。 ウ: 新しい博物館のメンテについて、どんな提案があるのか。1階 の床が木調になっているが、土足での入場でキズが付いてメン テをしないといけないが設計業者の助言はもらっているのか。
回答	ア: 現博物館のスタッフは9名、学芸員は正職員2名、会計年度任用職員2名の4名。(教育部長) イ:清掃業者については、本日資料が無いため正確な数字は説明出来ない。(教育部長) ウ:設計業者と十分対応していきたいと思っている。(教育部長)

第5回

8/10(水) 吉田公民館 19:00~ 参加者 30名

市民①	ア: CM (コンストラクション・マネージャー) を導入したが、なぜ地元の設計業者を採用しなかったのか。 イ: CMの業者はどこか。 ウ: 5,000 万円払って、2 億円節減できたという事だが、具体的に何が節減できたのか。
回答	ア: CM業者を依頼するにあたって、能力のある業者から選定した。該当する業者が地元に無かった。(教育部長) イ:明豊ファシリティワークス株式会社。(教育部長) ウ:各部屋の面積の見直しや、材料についても質を下げずにアイディアを出してもらい、設計事務所と検討した結果、節減できたということ。(建築住宅課)

市民②	ア:三間町のタウンミーティングの時に伊達博の入館料の半分が 伊達文化保存会にいっていると聞いていたが本当か。上限 250 万円を出して、令和3年の時に160万円のうち80万円は伊達 文化保存会に支払っていると聞いた。 イ:45億円をかけて、博物館はマイナス予算だと思う。博物館は 利益を上げて設けるような施設ではない。
回答	ア:伊達文化保存会には、協力謝礼金という形で支出をしている。 展示替えの時に展示検品を行う事、展示品を蔵から出しても らう作業に対する謝礼。(伊達博物館) イ:博物館は貴重な文化財、歴史資料等を後世に残していくため の施設であると考える。事業費 45 億円全てを出すのではなく、 有利な起債、国からの補助金をいただく事で、宇和島市の実負 担を少なくしていく。(教育部長)

市民③	ア: 伊達博物館の場所は学校が多くある場所にあるので、これからの子どもたちに伊達博物館に対するいいイメージ、宇和島に対する愛着を持ってほしい。 イ: 今の伊達博物館は高校生は入館料に 400 円が必要、施設に呼び込むためには学生証を見せれば無料で入館できるとか、何らかの優遇ができるようにしてほしい。
回答	ア・イ:特に回答せず、御意見として拝聴した。

市民④	ア:基本計画の時には、収蔵庫は2室になっていたと思う。1室 は伊達文化保存会、1室は宇和島市。今回は2階の図面を見 ると1室になっているようだが。
回答	ア: 想定以上に収蔵庫の面積が必要となり、収蔵庫を1室にまとめる事によって、容量が増えるメリット、空調を1つにする事でコストダウンするメリットがあると考えた。(伊達博物館)

市民⑤	ア:収蔵庫には、伊達家から寄託された物、宇和島市、伊達文化保存会、個人と伺った。伊達家から寄託された所有権は伊達家にあるのか。 イ:入館料は160万円と言われた、その半分の80万円を支払っている。今後も続けるのか。
回答	ア: 所有権については、伊達文化保存会、宇和島市、個人の3件であると御理解いただきたい。(教育部長) イ: 入館料について、入館料で全てをまかなえる施設ではない。取り交わした約束に基づいて、対応していると御理解をいただきたい。(教育部長)

第6回

8/11(木) 中央公民館 13:30~ 参加者19名

市民①	ア:新博物館の入館料はいくらか。
	イ:設計料はいくらか。
	ウ:プラモデルがあると分かりやすい。図面ではぱっとしないデザ
	インに見える。素人にも分かりやすく示してほしい。
回答	ア:確定していない。(教育部長)
	イ:約1億1千万円。(教育部長)
	ウ:全て設計が終わるともう少し詳しく示すことができる。ホー
	ムページや現地で看板も出して多くの方の目に触れるように
	している。開示できる情報は開示していきたいと思ってい
	る。(教育部長)

市民②	ア:研修室はどれくらいの人数が入る規模か、文京町は小・中学生が歴史を学ぶ場として利用するので、知りたい。 イ:現在の博物館は訪れた小・中学生が感想を掲示できるようになっている。良いことなので、新博物館もそのような場があると良い。
回答	ア: コロナ禍でも40~50名は入る。通常時は100名という想定。小・中学生が研修を行うのに十分な広さがある。 (教育部長) イ: 新博物館でも検討していく。(教育部長)

市民③	ア:藤棚カフェで本を読みたいと思うが、国道を通る車が多く、安全面が心配。対策はあるか。 イ:児童公園と天赦広場を安全に行き来できるといいと思う。計画では横断歩道が一つで不便だと思う。何か考えはあるか。
回答	ア: この図はイメージなので、このとおりの藤棚カフェができるわけではない。ガードレールもあるし、国道からの車の安全面はしっかり確保していく。詳しい実施設計を進めながら道路の管理をしている組織との打ち合わせもする。(教育部長)イ: 児童公園と天赦広場を行き来する道路を生活道路として利用している人も多いが、休日は車止めをするなど対策を考えていきたい。ただ、今の段階では確約はできないので御理解いただきたい。(教育部長)

市民④	ア:キッズスペースがどこかにできるということだったが、いつも研修室を使っているというわけでもないと思うので、女性が利用するときに子どもを預けなくて良いので、一緒にできると良いのではないか。普段はキッズスペースとして、必要なときは研修室として。 イ:カフェについて決まっていることがあれば知りたい。
回答	ア: 私どもも研修室だけとは考えていない。キッズスペースの連用とか、それに限らず、柔軟に使っていければと考えている。(教育部長) イ:カフェスペースについては基本的な点しか決まっていない。運営先等が決まってないので、細かくはこれからになる。(教育部長)

市民⑤	ア:3年位前、学校からの新伊達博物館に対する要望を出した。その際要望した研修スペース・カフェスペース・長い動線になるので途中で休むスペース・時系列に基づく展示・城下町宇和島を立体的にみることができる展示を提案させてもらったが全て実現していることが驚きであり、うれしく感じている。完成して一段落でなく市民が運営に携わっていけたら良い。もう一つ嬉しいことが隈研吾さんが設計してくださるということ。観光資源として生かしてほしい。また、大竹伸朗さんの作品は市内でパフィオの緞帳だけなので、立体作品を公園に設置してアートの町並みを提案したい。
回答	ア:期待に添えるよう頑張っていきたい。市民が運営に参加できる 仕組みについては重要視していきたい。(教育部長)

第7回

8/11(木) 中央公民館 19:00~ 参加者 9名

0/11	(水) 十六五氏品 19.00% 多加省 9名
市民①	 ア:一階部分は入場料はかかるのか。 イ:現在公園駐車場が子どもとの待ち合わせ場所になっているので、無料部分のホールの中を待ち合わせとして利用できるのか。 ウ:藤棚カフェはオープンカフェか。ベンチ等はないようだが。 エ:公園でボール遊びをする子がいるので、ガラスは怖い。 オ:現伊達博物館跡の公園はどのようになるのか。
回答	ア:最終確定ではないが一階は今の段階では入場料はとらない予定。(教育部長) イ:迎えのために夜遅くまで開館するということはないが、博物館の開館時間においては自由に使っていただいて良い。(教育部長) ウ:カフェは運営先が決まれば、内装等も決まってくる。囲われたカフェと考えてくれて良い。ベンチは公園には設置する。(教育部長) エ:ボール遊びについては公園を管理するものと協議しながらこれから具体的に決めていく。(教育部長) オ:博物館建設によって、天赦公園に隣接していた児童公園部分を跡地に設置するということが決まっているだけである。偕楽園については歴史的価値もあるので、取り入れて公園にできればと思うが、確定ではない。蔵・事務所もあるので、伊達家と相談しながらになる。(教育部長)

市民②	ア:大型バスは乗降場だけ。バスの駐車場はどこになるのか。現在でも不足している。イ:人材育成の仕組みはどうか。ハード面だけでなく、ソフト面の充実について伺いたい。ウ:キッズスペースで歴史に親しむとあるが、具体的に何を設置していくのか。
回答	 ア:現在、ショットガン方式を考えている。現段階でバスの待合所は決まっていない。(教育部長) イ:学芸員だけでなく、それぞれの分野でプロが必要。維持管理費との兼ね合いを考えながら充実させていきたい。(教育部長) ウ:キッズスペースも宇和島ゆかりの玩具を置くだけでなく、イベント企画を工夫して記憶・経験にも残るようなスペースにしたい。(教育部長)

市民③	ア:今度の建物は宇和島らしさがあって良いというが、何が宇和島らしいのか。40億円で4000平方メートル。100万円/平方メートル。坪単価330万円。それだけかけてどれだけの価値が見出せるのか。 イ:キッズスペースを作って市民に親しみやすい博物館、また一方で伊達文化を守る格調高い博物館を目指す。言葉だけで、どんな博物館になるのか、想像できない。具体的な例はあるのか。ウ:展示について具体的に聞きたかった。今回聞けると思っていたが、残念だ。次回の説明会はいつか。
回答	ア:建物だけでなく、天赦園やお城との借景も含めて総合的に宇和島らしさという言葉を使った。(市長) イ:私はその具体例は承知していないが、昼の市民説明会で子どもたちから素晴らしい発言をいただいた。子どもの頃から宇和島の歴史を知ってもらい、夏休みの宿題などにも生かしていく。三間でもそのような意見があった。(市長) ウ:次回説明会については、実施するかどうかまだ決まっていない。(市長)

市民④	ア:パフィオの説明会で隈研吾設計事務所の方が1階部分は南海地震の津波で被害を受けると平然と言っていたが、被害を受けたらまたお金をかけて再興するという考えで良いか。 イ:それでは地震対策が全くできていないのではないか。 ウ:想定外の津波を考えると丸山運動公園という案はなかったのか。 エ:簡単に1階は復興可能というが、そうなのか。せめて収蔵庫は10メートル以上にすべきだ。
回答	ア: 限事務所の方は、津波が来れば博物館に限らず、想定津波高以下の建物は無傷ではいられないということをお伝えしたと思う。だから、1階部分はお宝を置かず、2階の収蔵庫付近を企画展示とした。1階をピロティーにする案もあったが、費用面、景観を考え、今の計画になっている。(教育長) イ: 博物館は地震対策だけを最優先で建てるのではない。伊達文化を考え、城との景観等様々なことを検討し、あの場所に置いた。また、公開承認施設がとれるようなグレードの高い収蔵庫を想定津波の高さより上にしている。御理解いただきたい。(教育長) ウ: 令和2年の津波災害警戒区域を、愛媛県はホームページ等で告示している。そこでは宇和島天赦公園は5メートルを設定しており、これで限研吾事務所は設計している。建物も現在の設計基準を満たしており、震度7の地震にも耐えうるものである。限事務所が1階部分が被害を受けると言っていたのはガラスウォールのことである。ガラスなので漂流物などで割れることはあるが、早期に復興可能である。1階躯体が流されるということではない。今回、建替の必要があるのかという点についても、現伊達博物館は昭和49年建築なので現在の耐震基準でない。なので、震度7の地震がくると、現博物館はもたない。そういう状況にあるので、建替が必要である。高台の方にというお話もあったが、先ほどの説明の通り、天赦公園との連携もあって現在の位置になったと理解している。(建設部長) エ: 心配は分かるが、想定されている地震を考えると収蔵部分に大きな被害を受けるとは考えてない。(教育部長)